

AEXUS Lib(エクサスライブラリ) ver3.0.2.2-3 リリースノート

このリリースノートは、AEXUS Lib(ライブラリ) ver3.0.2.2-3.0.2.3 導入についての注意事項などについて記載しています。

AEXUSをご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://www.idkcorp.com/wolf/> でご確認くださいませす）。

1. 導入についての注意

■AEXUS Lib とは

AEXUS Lib は WOLF3.0 用の AEXUS 帳票作成機能追加ソフトです。

WOLF の機能では自由なフォーマットの帳票を作れないため、別途の帳票作成ソフトとして AEXUS を提供してきました。

AEXUS Lib では、個別に動作していた AEXUS を WOLF に統合し、AEXUS で作成したテンプレートファイル(wdt ファイル)を WOLF に取り込むことで WOLF から直接 AEXUS 帳票の作成が可能になりました。

※AEXUS Lib は製品版 WOLF3.0 のインストールされた環境で利用できます。

※帳票テンプレートの作成環境として別売りソフトの AEXUS が必要です。

■動作環境

- ・ WOLF3.0 がインストールされている環境

※無料版 ver1.0、WOLF ver2.0、WOLF-V には利用できません。

- ・ Microsoft .NET Framework 2.0 以上（インストールされていない場合はネットワーク経由でインストールが可能です）

■帳票テンプレートについて

AEXUS Lib をインストールしただけでは、AEXUS の帳票機能は利用できません。

AEXUS で作成したテンプレートファイルを WOLF に取り込む必要があります。

AEXUS でのテンプレートの作成方法は AEXUS のマニュアルを参照してください。

2. インストール方法

■新規インストールの場合

WOLF3.0 以上がインストールされた環境で AEXUS Lib のセットアップファイルを setup.exe を実行してください。

※.NET Framework 2.0 以上（インストールされていない場合はネットワーク経由でインストールが必要となります。）

■アップデートの場合

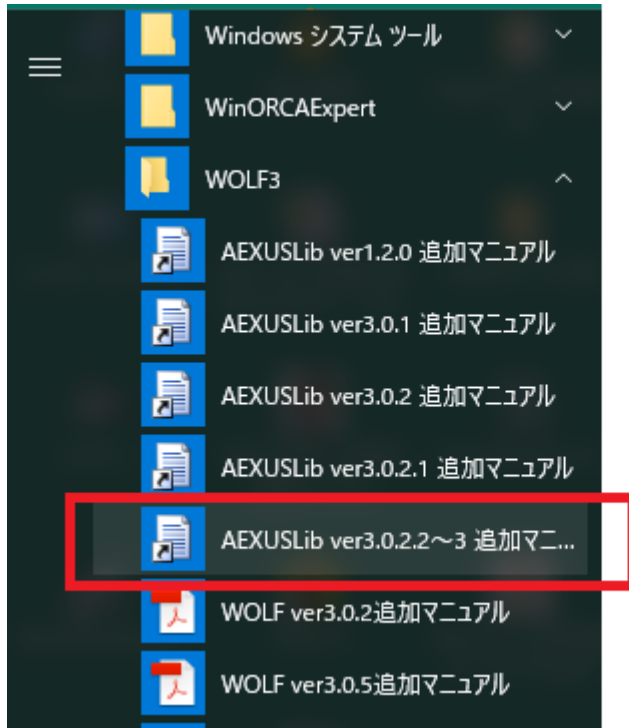
旧バージョンの AEXUSLib がインストールされている場合は、そのまま setup.exe を実行してください。

また、WOLF から登録した AEXUSLib ユーザ定義のテンプレート、帳票は WOLF の画像フォルダに保存されますので、AEXUSLib をアンインストールによるデータの削除はありません。

3. AEXUS の操作について(マニュアル)

AEXUS Lib の操作方法については Windows のプログラムメニュー内の WOLF に追加されるマニュアルを参照してください。

その他の操作については AEXUSLib ver1.2.0～3.0.2.1 マニュアルを参照してください。



※過去のバージョンでの変更点は各バージョンのリリースノートを参照してください。
(リリースノートは <http://www.idkcorp.com/wolf/release.html> でご確認いただけます)

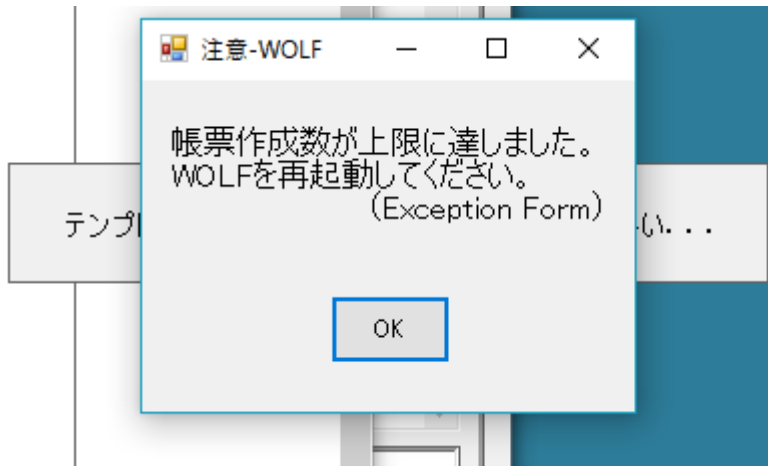
4. 不具合対応一覧(ALBF - AEXUSLib Bug Fixed : AEXUSLib バグ管理番号)

AEXUSLib ver3.0.2.1で判明した不具合に対し、AEXUSLib ver3.0.2.2-3.0.2.3で実施した内容について列記します。

■ALBF3-00005

複数帳票作成時の枚数が20枚前後でシステムが停止してしまう事象が発生したため、上限を100枚前後に拡大し、下図のように上限に達した事をお知らせする注意メッセージを複数追加しました。

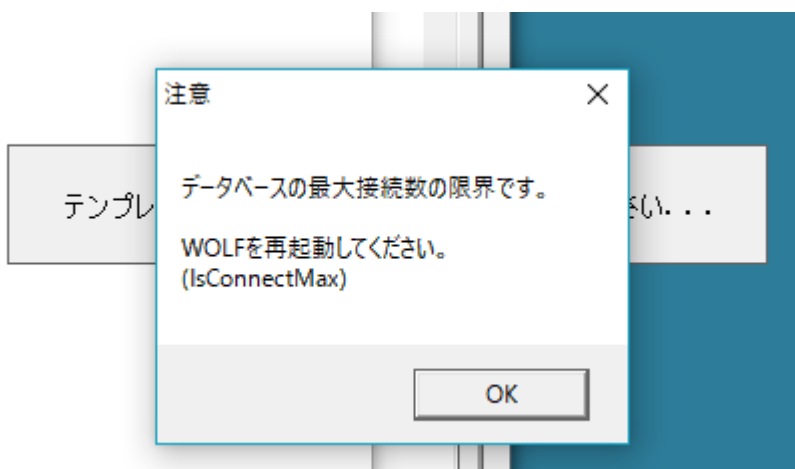
※尚、上限枚数につきましては、ご使用の端末により異なります。



該当の注意メッセージが表示された際には、ご使用のWOLF端末を再起動してください。

■ALBF3-00006

データベースの最大接続数に至るとシステムが停止してしまう事象が社内環境で発生したため、限界に近づいた事をお知らせする注意メッセージを追加しました。



上記の注意メッセージが表示された際には、ご使用のWOLF端末を全て再起動してください。尚、注意メッセージが頻発する際はデータベースの設定変更が必要となりますのでWOLF サポート wolf-support@idkcorp.com までお問合せください。

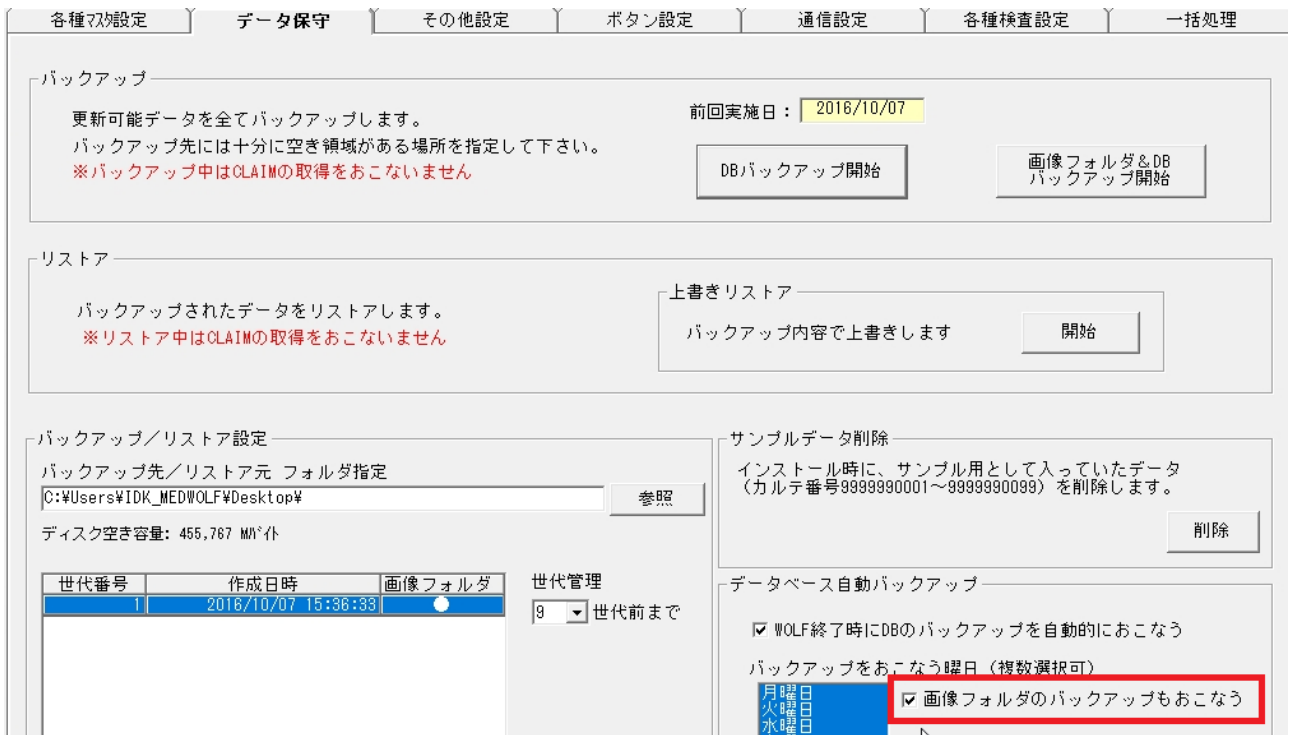
5. バックアップについて

WOLF に登録したテンプレートファイルと、そこから作成した帳票は WOLF の画像フォルダに保存されます。

データフォルダの場所は、「補助機能」－「その他設定タブ」－「画像保存フォルダ名」から確認できます。



画像フォルダのデータベース自動バックアップ設定は、「補助機能」－「データ保守タブ」－「データベース自動バックアップ」の「画像フォルダのバックアップもおこなう」にチェックを入れてください。



6. クライアントサーバでの使用について

WOLF を複数台のクライアントサーバ環境で使用している場合、AEXUS Lib のインストールは全てのクライアント PC とサーバ PC にインストールが必要です。

AEXUS Lib のテンプレートファイルと、そこから作成した帳票をクライアントサーバ環境で共有するためには、画像フォルダを共有フォルダに設定し、「補助機能」-「その他設定タブ」-「画像保存フォルダ名」の参照ボタンより「ネットワーク-PC 名-画像フォルダ」に設定します。既にクライアントサーバ環境を構築して画像の共有設定をしている場合は、そのままの設定で AEXUS Lib のテンプレートファイルと帳票を共有できます。

※上記を設定しないで AEXUS Lib を使用すると各クライアントマシンのローカルフォルダにテンプレートファイルと、帳票が保存されてしまいますのでご注意ください。

